

ミニシステムの再構成 (2) (HP 収載)

1. はじめに

前報(1)でミニシステムの入替えと接続テストが終わりましたので、三つの小型スピーカーの比較試聴を行うことにしました。

2. ミニシステムの構成内容と試聴方法

アンプは EL84 シングルアンプでスピーカーは前報(1)と同じく ISOPHON HK 6-8A と ISOPHON 10cm フルレンジと LINN の CLASSIC UNIK の 3 機種を繋ぎ変えます。



ISOPHON HK 6-8A



ISOPHON 10cm フルレンジ



LINN CLASSIC UNIK

再生は CEC の携帯 CD プレイヤーと iPhone のストリーミング再生とします。
iPhone のストリーミング再生は、ライトニングからステレオミニジャック変換経由
で EL84 シングルアンプに入力します。



音源は、下記を選択しました。

CD

ARCHIV POCA-1132

オペラアリア集

アンネ・ゾフィー・フォン・オッター(メゾソプラノ)

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンソート

Spotify

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

堀米ゆず子(ヴァイオリン)

STAGE+

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

3. ミニシステムの試聴結果

ISOPHON HK 6-8A での CD 再生は、さすがにバックのバロックアンサンブルの解像度は箱鳴り気味で無理ですが、オッターのメゾソプラノは張りのある歌唱が飛んでくるようです。

ISOPHON HK 6-8A での Spotify 再生は、堀米ゆず子のガルネリの倍音の表現や胴鳴りまでは無理がありますが、浸透力のある音が聴けます。

ISOPHON HK 6-8A での STAGE+再生は、同じ曲ですが、Spotify よりレンジ感があり、ボウイングのディテールまで把握できます。

ISOPHON 10cm フルレンジでの CD 再生は、ISOPHON HK 6-8A と同じユニットの1個入りですので、音は良く似ていますが、浸透力は ISOPHON HK 6-8A より弱い反面、箱鳴りは抑えられ、バランスは良くなっています。

ISOPHON 10cm フルレンジでの Spotify 再生は、ISOPHON HK 6-8A での Spotify 再生によく似た音ですが、フルレンジ1個入りでバランスがよくなってお

り、倍音もかなり満足できるレベルです。

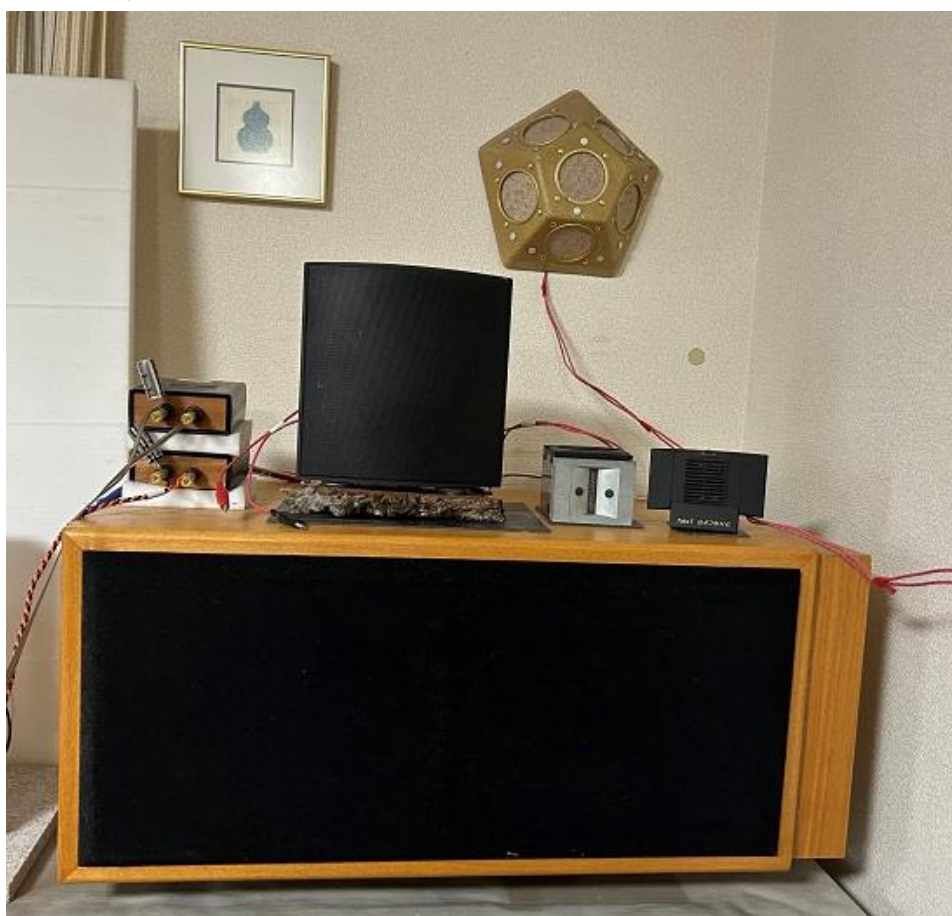
ISOPHON 10cm フルレンジでの STAGE+再生は、Spotify の同じ曲よりレンジが広がり、倍音も良く伸びてボウイングのディテールまで把握できます。

LINN の CLASSIC UNIK での CD 再生は、上記 2 機種よりバランスよく、オッタ一の歌唱も落ち着きがあり、バックのアンサンブルも前にでてきます。

LINN の CLASSIC UNIK での Spotify 再生は、バランスよく倍音もしっかりでています。

LINN の CLASSIC UNIK での STAGE+再生は、Spotify 再生と同様、バランスよく倍音もしっかりでいて、さらにディテールの再現も十分です。

最終的な設置は、サブシステムの入れ替えの後、AXIOM80 の上になりました。



4. まとめ

ミニシステムの再構成が完了し、CD の再生と WiFi 経由の Spotify と STAGE+ののストリーミング再生が可能となり、三つのスピーカーの個性が把握できました。

以上

